

令和5年度 第1回 理事会資料(参考)

2023.4

I. 会長挨拶

II. 協議事項等

1. 令和5年度 宮崎県弓道連盟基本方針

事業の実施に当たっては、コロナ禍の知見を踏まえ、全弓連の方針に沿って従来の全事業を実施する。  
第81回国民スポーツ大会(令和9年開催)に備え、競技力向上委員会並びに準備委員会の充実を図る。

- (1) 底辺拡大と会員の確保(初心者教室等の開催や経験者の発掘)を図る。
- (2) 会員相互の親睦を深め、支部・県弓道連盟の活性化に努める。
- (3) コンプライアンス(法令遵守)の徹底、暴力・ハラスメントの根絶、矢羽の使用に関する準則の遵守ならびにアンチドーピングの徹底を図る。
- (4) 適正な指導のもと、会員の競技力向上を図る。
- (5) ホームページの充実を図る。

スローガン 『正しい体配・射法射技を習得し、競技力の向上を図る』

『みんなで国スポ大会を盛り上げよう』

2. 令和5年度 役員役割分担について(案)

役職名	氏名	役割
会長	重信 和行	全般、九州連合会会長、九州連合会審査委員・審判委員 県スポーツ協会評議員、県武道協議会副会長
副会長	齊藤 逸郎	教錬士会会長 総務全般、宮弓連相談窓口、コンプライアンス委員
	當房 孝之	指導担当理事兼務
	橋本さだ子	総務補助、ねんりんピック担当
理事	廣田 忠則	事務局長、一般事務全般、全弓連・県スポ協等関係機関連手続等全般、中央・連合審査会担当 九州連合会理事、九州連合会審査委員・審判委員、県武道協議会理事
	原田 俊春	財務担当、会員名簿作成、地方審査会担当(会計処理)
	高塚 究	渉外担当、教錬士会事務局、県弓道連盟国スポ大会準備委員会事務局長 宮弓連史の記録・保存
	日高 伸	競技担当(県及び県連主催大会等の案内・名簿作成・大会準備・運営他全般) 国スポ大会選手強化担当、国スポ大会候補選手発掘、国スポ大会関連事務全般
	岩切 久実	女子部担当 女子部の大会、講習会等の案内・名簿作成・準備・運営他全般
	野中 啓史	育成担当(国スポ大会候補選手発掘)、HP担当(更新等) 国スポ大会選手強化担当、国スポ大会候補選手発掘、国スポ大会関連事務全般
	萩原 新吾	高体連
	平川 兼利	中体連専門委員(宮崎日大中学校)
	梅田 一成	監査
監事	鳥越 和弘	監査
	小野 宏文	地方審査会担当(名簿作成、事務全般)、一般事務、競技担当補助、各種大会の結果まとめ、 地方審査会担当(名簿作成他全般)
事務局員	小野 宏文	地方審査会担当(名簿作成、事務全般)、一般事務、競技担当補助、各種大会の結果まとめ、 地方審査会担当(名簿作成他全般)
競技力向上委員会	鳥越 和弘	委員長
	野中 啓史	成年の部担当
	日高 伸	少年の部総括、少年男子の部担当
	満行 幸博	事務担当(国スポ大会関連の事務)
	甲斐 美佳	少年女子の部担当、事務担当(国スポ大会関連の事務)
	吉本 有美	事務担当(国スポ大会関連の事務・会計)

### 3. 主な会議、講習会、全国大会等

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更が予定されているに伴い、大会・審査会・講習会については、開催規模をコロナ禍以前の弓道事業に可能な限り準じて実施する。(全弓連)

#### (1) 会議

- ① 県連は行事計画による。
- ② 九州連合会役員会 第1回 (7月29日(土)・熊本市)～会長、事務局長  
第2回 (11月25日(土)・大分市)～会長、事務局長  
第3回 (令和6年3月23日(土)・都城市)～会長、事務局長
- ③ 九州連合会地連運営懇談会 第1回 (8月5日(土)・多久市)～会長  
第2回 (令和6年3月2日(土)・福岡市)～会長
- ④ 県スポーツ協会 評議員会(6月27日(火)、令和6年3月21日(木))  
理事会(6月、11月、令和6年3月)・委員会(複数回)  
加盟団体事業説明会・国体事務担当者会(4月19日(水))
- ⑤ 宮崎県武道協議会 理事会(実行委員会)(5月9日、10月3日、12月12日)  
武道振興演武大会(11月26日)  
武道館大掃除(12月16日)

#### (2) 講習会

##### 全弓連主催の講習会、研修会

- ① 中央委員連絡会(対象者は全弓連指名の中央委員)
  - ② 中央研修会(全日本弓道選手権大会予選通過者で七段教士・65歳以下)
  - ③ 全国弓道指導者研修会(日本武道館共催)
  - ④ 月刊「弓道」購読者対象特別講習会(6月・10月)
- 令和4年度と同様に公益・環境・コンプライアンス等について、引き続き、関係者への周知を図る。

##### 九州連合会主催の講習会(講習会の土曜日の宿泊は主管地連が手配の宿舎を利用すること。)

- ① 地区指導者講習会  
各地連5名以内(女性1名以上含む)。原則教士六段以上、参加料5,000円  
全弓連公認資格地方委員の更新・新規取得対象となる。  
※本講習会受講者が地連講習会の講師を務めた場合、地方委員の更新・新規取得講習会、及び、日本スポ協会指導員専門科目免除講習会と認める。  
※佐賀市、令和5年6月24日(土)午後1時30分開会～令和5年6月25日(日)午後4時解散
- ② 指導者育成講習会  
各地連5名以内(女性1名以上含む)。五段から錬士六段、原則55歳以下、参加料5,000円  
全弓連公認資格地方委員の更新・新規取得対象となる。  
※熊本市(植木)、令和5年7月1日(土)午後1時30分開会～令和5年7月2日(日)午後4時解散
- ③ 四五段受有者講習会  
各地連5名以内(男女の比率に注意、参加料5,000円)  
※熊本市(植木)、令和5年10月21日(土)午後1時30分開会～令和5年10月22日(日)午後4時解散
- ④ 学校指導者講習会  
各地連で実施、講師は地区指導者講習会受講者 2名  
学校における弓道指導者・部顧問・外部指導者  
全弓連公認資格地方委員の更新・新規取得対象となる。  
※宮崎県 令和6年2月17日(土)宮崎市体育館弓道場

##### 県連主催の講習会

行事計画による。

### (3) 大会

#### 全弓連が主催する大会(矢渡を再開)

- ① 全日本弓道大会(京都市)
- ② 全日本男子弓道選手権大会・全日本女子弓道選手権大会
- ③ 全日本弓道遠的選手権大会(調整中)
- ④ 全国中学生弓道大会(調整中)
- ⑤ 明治神宮奉納全国弓道大会(中央道場)
- ⑥ 全日本勤労者弓道選手権大会(佐賀県多久市)
- ⑦ 都道府県対抗弓道大会(オンライン形式)
- ⑧ 世界弓道大会日本代表選考会(令和6年2月29日予定)

5月までに要項作成予定

#### 他団体が主体となって実施する共催事業

- ① 世界弓道大会
- ② 全日本少年少女武道(弓道)錬成大会
- ③ 全国高等学校弓道大会(全国高等学校総合体育大会弓道競技大会)
- ④ 全国高等学校弓道選抜大会
- ⑤ 全国大学弓道選抜大会
- ⑥ 国民体育大会・弓道競技会(9月13～16日 鹿児島県出水市) 特別国体
- ⑦ 全日本教職員弓道選手権大会

#### 全九州弓道連盟が主催する大会(矢渡を再開)

- ① 全九州弓道選手権大会(植木)  
各県男女各々5名以内、全日本出場数は未定  
予選一手2回(採点制)、決勝は得点上位15名(但し2中以上)による一手3立的中制  
※令和5年7月29日(土)午後1時開会～令和5年7月30日(日)午後4時閉会
- ② 九州中学生大会(佐賀県多久市)  
前年度優勝校(男女各々)、各県男女各々3校以内、主管県は男女各々5校以内  
※令和5年8月6日(日)午前9時開会～午後3時閉会予定
- ③ 九州各県対抗弓道大会(長崎県島原市)  
各地連9名(教士・錬士・五段以下の部各チーム3名)、福岡県は各々2チーム  
団体個人とも各部門3位まで表彰  
※令和5年10月29日(日)午前9時開会～午後4時30分閉会予定
- ④ 高等学校新人選手権大会(長崎県島原市)  
高体連主管

### (4) 審査

- ① 中央審査会  
開会式は実施しない。矢渡は実施する。(特別演武は実施しない。)  
観覧席は座席数等にもよるが開放する。  
学科はレポート対応とする。  
※三段以下のビデオ審査を令和5年度も引き続き行う。地連の事情により参集形式、ビデオ形式の何れでも可とする。
- ② 連合審査会  
開会式は実施しない。矢渡は実施する。(主管地連)  
学科はレポート対応とする。(学科担当は審査会当日は出席しない。)  
受付時間を立ち順により区分する。  
6月(都城市)、9月(佐世保市)、12月(植木)、令和6年3月(大分市)

### ③ 地方審査会

感染症に対応した方法で実施

- ・ 開会式(矢渡)は実施しない。秋の審査会から矢渡を実施する。
- ・ 入館時間を制限し、滞留時間制限と密集回避を図る。
- ・ 学科試験は、事前のレポート提出形式を継続する。
- ・ 審査結果は途中の休憩時間や昼食休み等に発表する。

参集形式で実施

小野事務局員が庶務担当として各審査会場に帯同し、審査事務を担当  
受審料、登録料は、審査会場の支部長が県連の口座に振り込む。

## 4. その他

(1) 一般推薦について

(2) 全国地連会長会議

税務署(公認会計士等)に税務相談(法人税)を実施する。

アンチドーピング

鹿児島特別国体から大会出場1年以内にドーピング教育の受講が義務付けられる。

(選手、監督、スタッフ、帯同者、少年の部の保護者)

JSPOのアンチドーピング教育動画を視聴

コンプライアンスの遵守およびハラスメントの防止

ハラスメント防止に向けた普及・啓発を図る。

ガバナンスコードの遵守、体制整備の推進

相談窓口の整備(斎藤副会長)

(3) その他